

## 霧島市商工会

## 霧島市の経済動向調査結果概要

「霧島市の経済動向アンケート調査」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

概況（特産品製造業）	
業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲33であった（「増加」12%、「横ばい」43%、「減少」45%）。 ⇒品目別にみると、菓子が▲87でマイナス幅が大きく、黒酢、その他（ともに▲20）、荒茶（▲11）を含め4品目すべてがマイナス圏となっている。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲28となり、今期（▲33）から改善する見通しである。 ⇒品目別にみると、黒酢、その他が低下する一方、荒茶が改善し、菓子が大幅に改善する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲28となった（「増加」17%、「横ばい」38%、「減少」45%）。 ⇒品目別にみると、荒茶が11とプラス圏である一方、菓子（▲87）、黒酢（▲30）、その他（▲21）でマイナス圏となった。</p> <p>○来期は▲20となり、今期（▲28）よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、菓子（同▲87→▲57）が大幅に改善し、黒酢（▲30→▲20）も大きく改善するなど、全品目で改善する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成28年9月末の製品・商品在庫の過不足感は、「過剰」11%、「適正」72%、「不足」17%となり、D.I.は▲6となった。 ⇒品目別にみると、黒酢が20と在庫過剰感がある一方、菓子（▲29）、荒茶（▲6）、その他（▲5）では不足感がある。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲33となった（「好転」14%、「横ばい」39%、「悪化」47%）。 ⇒品目別にみると、荒茶が0であった一方、菓子が▲80とマイナス幅が大きく、黒酢（▲30）、その他（▲29）もマイナス圏となっている。</p> <p>○来期は▲23となり、今期（▲33）よりも大幅に改善する見通し。 ⇒品目別にみると、その他（▲29→▲35）が悪化し、黒酢（▲30→▲30）が横ばいとなるものの、菓子（▲80→▲53）は大幅に改善し、荒茶（0→23）とプラス圏に回復する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は▲5となった（「上昇」9%、「横ばい」77%、「低下」14%）。 ⇒品目別にみると黒酢は0、荒茶（6）とその他（4）がプラス圏となっている一方、菓子が▲33とマイナス圏となっている。</p> <p>○来期は▲6となり、今期（▲5）とほぼ横ばいの見通し。 ⇒品目別にみると、菓子（▲33→▲29）、その他（4→5）がやや改善するものの、黒酢（0→0）が横ばい、荒茶（6→▲6）が大幅に低下する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は37となった（「上昇」42%、「横ばい」53%、「低下」5%）。 ⇒品目別にみると、その他が57と最も高く、菓子（50）、黒酢（20）、荒茶（6）のすべての品目がプラス（上昇）となった。</p> <p>○来期は24となり、今期（37）よりも低下する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢（20→20）が横ばいで推移するものの、荒茶（6→▲7）、菓子（50→29）、その他（57→45）の3品目で低下する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲42となった（「楽」0%、「普通」58%、「窮屈」42%）。 ⇒品目別にみると、全業種でマイナス圏となっている。特に、菓子（▲60）、その他（▲50）のマイナス幅が大きい。</p> <p>○来期は▲34となり、今期（▲42）よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、黒酢（▲22→▲22）が横ばいで推移するものの、菓子（▲60→▲43）が大幅に改善し、荒茶（▲24→▲18）、その他（▲50→▲48）の2品目で改善する見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲19となった（「過剰」6%、「適正」69%、「不足」25%）。 ⇒品目別にみると、荒茶（▲29）、その他（▲26）、黒酢（▲11）で人手不足感がある一方、菓子は0となった。</p> <p>○来期は▲20となり、今期（▲19）とほぼ横ばいの見通し。 ⇒品目別にみると、その他（▲26→▲28）がやや不足感が高まり、黒酢（▲11→▲11）、荒茶（▲29→▲29）、菓子（0→0）の3品目で横ばいとなる見通し。</p>

図表1 霧島市の経済動向調査結果（特産品製造業）

	平成28年7～9月期				平成28年10～12月期				今期比
	今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	12	43	45	▲ 33	8	56	36	▲ 28	↑
黒酢	0	80	20	▲ 20	0	70	30	▲ 30	↓
荒茶	18	53	29	▲ 11	12	70	18	▲ 6	↑
菓子(かるかん等)	0	13	87	▲ 87	0	43	57	▲ 57	↑
その他	20	40	40	▲ 20	13	48	39	▲ 26	↓
売上・完工高	17	38	45	▲ 28	11	58	31	▲ 20	↑
黒酢	0	70	30	▲ 30	0	80	20	▲ 20	↑
荒茶	29	53	18	11	24	64	12	12	↑
菓子(かるかん等)	0	13	87	▲ 87	0	43	57	▲ 57	↑
その他	25	29	46	▲ 21	14	53	33	▲ 19	↑
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 11	適正 72	不足 17	▲ 6					
黒酢	20	80	0	20					
荒茶	12	70	18	▲ 6					
菓子(かるかん等)	7	57	36	▲ 29					
その他	8	79	13	▲ 5					
損益	好転 14	横ばい 39	悪化 47	▲ 33	好転 14	横ばい 49	悪化 37	▲ 23	↑
黒酢	0	70	30	▲ 30	0	70	30	▲ 30	→
荒茶	24	52	24	0	29	65	6	23	↑
菓子(かるかん等)	0	20	80	▲ 80	7	33	60	▲ 53	↑
その他	21	29	50	▲ 29	13	39	48	▲ 35	↓
販売価格	上昇 9	横ばい 77	低下 14	▲ 5	上昇 5	横ばい 84	低下 11	▲ 6	↓
黒酢	0	100	0	0	0	100	0	0	→
荒茶	18	70	12	6	13	68	19	▲ 6	↓
菓子(かるかん等)	7	53	40	▲ 33	0	71	29	▲ 29	↑
その他	8	88	4	4	5	95	0	5	↑
仕入価格	上昇 42	横ばい 53	低下 5	37	上昇 31	横ばい 62	低下 7	24	↓
黒酢	20	80	0	20	20	80	0	20	→
荒茶	13	80	7	6	0	93	7	▲ 7	↓
菓子(かるかん等)	64	22	14	50	50	29	21	29	↓
その他	57	43	0	57	45	55	0	45	↓
資金繰り	楽 0	普通 58	窮屈 42	▲ 42	楽 0	普通 66	窮屈 34	▲ 34	↑
黒酢	0	78	22	▲ 22	0	78	22	▲ 22	→
荒茶	0	76	24	▲ 24	0	82	18	▲ 18	↑
菓子(かるかん等)	0	40	60	▲ 60	0	57	43	▲ 43	↑
その他	0	50	50	▲ 50	0	52	48	▲ 48	↑
雇用人員	過剰 6	適正 69	不足 25	▲ 19	過剰 5	適正 70	不足 25	▲ 20	↓
黒酢	22	45	33	▲ 11	22	45	33	▲ 11	→
荒茶	0	71	29	▲ 29	0	71	29	▲ 29	→
菓子(かるかん等)	0	100	0	0	0	100	0	0	→
その他	9	56	35	▲ 26	5	62	33	▲ 28	↓

## 概況（観光関連産業）

業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲41であった（「増加」7%、「横ばい」45%、「減少」48%）。 ⇒業種別にみると、調査した5業種すべてがマイナス圏となっている。特に、宿泊業は▲55で最もマイナス幅が大きい。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲28となり、今期（▲41）よりも大幅に改善する見通しである。 ⇒業種別にみると旅客運送業がほぼ横ばい、浴場業、その他が横ばいである一方、宿泊業、飲食業が大幅に改善する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲40となった（「増加」8%、「横ばい」44%、「減少」48%）。 ⇒業種別にみると、全業種でマイナス圏となった。宿泊業（▲52）や飲食業（▲41）等ではマイナス幅が大きく、旅客運送業（▲12）はマイナス幅が他業種よりも小さい。</p> <p>○来期は▲22となり、今期（▲40）よりも大幅に改善する見通し。 ⇒業種別にみると、旅客運送業（▲12→▲13）がほぼ横ばいである一方、宿泊業（▲52→▲25）、浴場業（▲33→0）、飲食業（▲41→▲24）、その他（▲22→▲15）が改善する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成28年9月末の製品・商品の在庫の過不足感は、「過剰」2%、「適正」84%、「不足」14%となり、D.I.は▲12となった。 ⇒業種別にみると、浴場業では▲33と他業種に比べ在庫不足感が高まっている。一方、その他では▲7と他業種に比べ、マイナス幅が小さい。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲44となった（「好転」7%、「横ばい」42%、「悪化」51%）。 ⇒業種別にみると、宿泊業（▲53）、飲食業（▲46）のマイナス幅が大きい。以下、浴場業（▲33）、その他産業（▲29）、旅客運送業（▲25）と続く。</p> <p>○来期は▲26となり、今期（▲44）よりも大幅に改善する見通し。 ⇒業種別にみると、宿泊業（▲53→▲16）、浴場業（▲33→0）が大幅に改善するほか、飲食業（▲46→▲33）、旅客運送業（▲25→▲13）、その他（▲29→▲15）の5業種すべてで改善する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は▲4となった（「上昇」7%、「横ばい」82%、「低下」11%）。 ⇒業種別にみると旅客運送業が29でプラス圏にあり、その他産業が0となっている一方、浴場業（▲33）、宿泊業（▲13）、飲食業（▲2）がマイナス圏となっている。</p> <p>○来期は▲8となり、今期（▲4）よりも低下する見通し。 ⇒業種別にみると、浴場業（▲33→▲33）、旅客運送業（29→29）、その他（0→0）が横ばいである一方、宿泊業（▲13→▲22）、飲食業（▲2→▲6）が低下する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は49となった（「上昇」51%、「横ばい」47%、「低下」2%）。 ⇒業種別にみると、飲食業が57で最も高く、次いで宿泊業（44）、浴場業（33）、旅客運送業（25）、その他産業（23）と全業種で仕入価格が上昇している。</p> <p>○来期は47となり、今期（49）よりもわずかに低下する見通し。 ⇒業種別にみると、旅客運送業（25→50）が上昇する一方、浴場業（33→33）、その他（23→23）が横ばいで推移し、宿泊業（44→35）、飲食業（57→55）が低下する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲32となった（「楽」1%、「普通」66%、「窮屈」33%）。 ⇒業種別にみると、全業種でマイナス圏となった。旅客運送業が▲38で最もマイナス幅が大きく、次いで、飲食業（▲35）、浴場業（▲33）が続く。</p> <p>○来期は▲31となり、今期（▲32）とほぼ横ばいの見通し。 ⇒業種別にみると、宿泊業（▲30→▲28）がやや改善する一方、浴場業（▲33→▲33）、飲食業（▲35→▲35）、旅客運送業（▲38→▲38）、その他（▲14→▲14）で横ばいとなる見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲30となった（「過剰」2%、「適正」66%、「不足」32%）。 ⇒業種別にみると、全ての業種がマイナス圏となった。特に旅客運送業（▲63）の人手不足感が高く、宿泊業（▲42）、その他産業（▲36）と続く。</p> <p>○来期は▲32となり、今期（▲30）よりもやや悪化する見通し。 ⇒業種別にみると、浴場業（▲33→▲33）、旅客運送業（▲63→▲63）、その他（▲36→▲36）が横ばいで推移し、宿泊業（▲42→▲45）、飲食業（▲20→▲22）が悪化する見通し。</p>

図表2 霧島市の経済動向調査結果（観光関連産業）

	平成28年7～9月期				平成28年10～12月期				今期比
	今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	7	45	48	▲ 41	7	58	35	▲ 28	↑
宿泊業	12	21	67	▲ 55	9	57	34	▲ 25	↑
浴場業	0	67	33	▲ 33	0	67	33	▲ 33	→
飲食業	3	50	47	▲ 44	5	56	39	▲ 34	↑
旅客運送業	13	62	25	▲ 12	0	87	13	▲ 13	↓
その他産業	14	57	29	▲ 15	14	57	29	▲ 15	→
売上高	8	44	48	▲ 40	9	60	31	▲ 22	↑
宿泊業	15	18	67	▲ 52	10	55	35	▲ 25	↑
浴場業	0	67	33	▲ 33	0	100	0	0	↑
飲食業	3	53	44	▲ 41	9	58	33	▲ 24	↑
旅客運送業	13	62	25	▲ 12	0	87	13	▲ 13	↓
その他産業	14	50	36	▲ 22	14	57	29	▲ 15	↑
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 2	適正 84	不足 14	▲ 12					
宿泊業	0	87	13	▲ 13					
浴場業	0	67	33	▲ 33					
飲食業	2	84	14	▲ 12					
旅客運送業	0	83	17	▲ 17					
その他産業	8	77	15	▲ 7					
損益	好転 7	横ばい 42	悪化 51	▲ 44	好転 7	横ばい 60	悪化 33	▲ 26	↑
宿泊業	16	15	69	▲ 53	17	50	33	▲ 16	↑
浴場業	0	67	33	▲ 33	0	100	0	0	↑
飲食業	2	50	48	▲ 46	4	59	37	▲ 33	↑
旅客運送業	13	49	38	▲ 25	0	87	13	▲ 13	↑
その他産業	14	43	43	▲ 29	14	57	29	▲ 15	↑
販売価格	上昇 7	横ばい 82	低下 11	▲ 4	上昇 4	横ばい 84	低下 12	▲ 8	↓
宿泊業	3	81	16	▲ 13	0	78	22	▲ 22	↓
浴場業	0	67	33	▲ 33	0	67	33	▲ 33	→
飲食業	6	86	8	▲ 2	3	88	9	▲ 6	↓
旅客運送業	29	71	0	29	29	71	0	29	→
その他産業	14	72	14	0	7	86	7	0	→
仕入価格	上昇 51	横ばい 47	低下 2	49	上昇 51	横ばい 45	低下 4	47	↓
宿泊業	50	44	6	44	45	45	10	35	↓
浴場業	33	67	0	33	33	67	0	33	→
飲食業	58	41	1	57	58	39	3	55	↓
旅客運送業	25	75	0	25	50	50	0	50	↑
その他産業	23	77	0	23	23	77	0	23	→
資金繰り	楽 1	普通 66	窮屈 33	▲ 32	楽 1	普通 67	窮屈 32	▲ 31	↑
宿泊業	3	64	33	▲ 30	3	66	31	▲ 28	↑
浴場業	0	67	33	▲ 33	0	67	33	▲ 33	→
飲食業	0	65	35	▲ 35	0	65	35	▲ 35	→
旅客運送業	0	62	38	▲ 38	0	62	38	▲ 38	→
その他産業	0	86	14	▲ 14	0	86	14	▲ 14	→
雇用人員	過剰 2	適正 66	不足 32	▲ 30	過剰 2	適正 64	不足 34	▲ 32	↓
宿泊業	0	58	42	▲ 42	0	55	45	▲ 45	↓
浴場業	0	67	33	▲ 33	0	67	33	▲ 33	→
飲食業	3	74	23	▲ 20	3	72	25	▲ 22	↓
旅客運送業	0	37	63	▲ 63	0	37	63	▲ 63	→
その他産業	7	50	43	▲ 36	7	50	43	▲ 36	→

## 【調査概要】

### (1) 調査対象

霧島市商工会会員のうち特産品製造業者及び観光関連産業事業者。

### (2) 調査時期

平成 28 年 10 月

### (3) 有効回収数

	合計	地区別回答数					
		溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
特産品製造業	68	18	6	5	8	17	14
観光関連産業	145	22	7	34	21	52	9

### (4) 対象期間

	時 期
今 期	平成 28 年 7～9 月期
来 期	平成 28 年 10～12 月期

### (5) 質問項目

業況、売上高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益等

#### 《D.I.について》

D.I.とは Diffusion Index の略で、企業の業況マインドや製品の在庫、雇用人員の過不足等について、回答企業の判断を指数化したものです。内閣府が発表する「景気動向指数」や、日本銀行の「短観」等で用いられており、各種研究機関等が実施する調査においても、自社の業況や売上・完工高、資金繰りや雇用人員等を指数化し調査しています。

算出にあたっては、例えば、業況の見通しについて「良い・普通・悪い」と選択肢があった場合、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いて求めます。業況見通し D.I.は現状判断、景気の予測等に用いられています。